

アントラズカップ2019 しまビーチサッカー大会 競技形式等

- ◆**競技形式**
- ①グループリーグ：参加チームをグループに分けて予選リーグを行う。各グループの順位に応じてトーナメントに進出する。
 - ②トーナメント：各グループ1位チームによる決勝トーナメントを行う。
 - ③グループリーグにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。
勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。
ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序で順位を決定する。
 - (1)得失点差：ゴールディファレンス（総得点マイナス総失点）
 - (2)総得点数
 - (3)当該チーム同士の対戦結果
 - (4)第1号から第3号までで勝敗が決しない場合は、抽選による。
 - ④決勝トーナメントにて、同点の場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。
※但し、参加チーム数により試合形式が変更になる場合があります。

- ◆**競技規則**
- 日本サッカー協会制定の『ビーチサッカー競技規則最新全国大会用』による。
ただし、以下の項目については本大会規定を定める。
- ①試合時間
前後半10分間のランニングタイム（ハーフタイムのインターバル3分）
 - ②本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については主催者で決定する。
 - ③本大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
 - ④試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5で敗戦したものとみなす。
 - ⑤ベンチに着席できる人数は、ビーチサッカー大会登録票により本大会にあらかじめ登録されており、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている交代選手7名、役員4名の合計11名を上限とする。
 - ⑥試合球は、ビーチサッカー専用ボールを使用する。
 - ⑦荒天その他不測の事態の対応は、主催者において決定する。
 - ⑧登録選手以外の出場は認めない。

◆ユニホーム

- ①ユニホーム（シャツ、ショーツ）については、フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも、色彩が異なり判別しやすいユニホームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。
セカンドユニホームは上記と異なる色彩のユニホームが望ましいがビブス等でも可とする。ストッキングは特別な状況を除き着用しない。
 - ②背番号は、ビーチサッカー大会登録票に記載され、明確に判別しうる選手固有の番号を付けること。
- ※ユニホームがない場合は、ビブスの貸出を行います。

- 1 ピッチ 長さ：37m 幅：28m
- 2 ペナルティーエリア ゴールラインから9mの地点に旗で示す。
- 3 ゴール 長さ5.5m 高さ2.2m（ビーチサッカー専用ゴールを使用する）
- 4 ボール ビーチサッカー専用のボールを使用する。
- 5 人数 1チーム5人（5人のうち1人はゴールキーパー） 交代要員は最大5人までとする。
- 6 交代 自由な交代（選手がピッチから出てから交代要員が入る。）
- 7 用具 ジャージまたはシャツ、ショーツ（サッカーパンツ） ストッキング、靴は認められない。
ゴールキーパーは他の選手、審判と区別のため色を着用する。
相手チームと同色の場合はビブスでも可とする。
- 8 試合時間 前後半10分間のランニングタイム（ハーフタイムは3分）
決勝トーナメントは決勝のみ3分の延長戦を行う。延長戦でも引けわけであった場合ペナルティーキックで勝者を定める。
- 9 試合開始 キックオフから直接得点できない。相手チームは5m離れる。
- 10 得点 ゴールキーパーはボールを手で投げて直接得点することはできない。
- 11 ファウル 基本的にサッカー、フットサルと同様に審判が判断した場合、直接フリーキックを相手チームに与える。
- 12 フリーキック 直接フリーキックのみ行われる。相手チームは壁を作れない。
ファウルを受けた選手がキックを行う。ただし、重傷であるときはその交代要員が行う。直接フリーキックから得点できる。
ボールの位置を高くするために、キッカーは自分の足かボールを使って小さな砂の山を作ることができる。キックは5秒以内に行う。
 - ① 相手ハーフのフリーキック：キッカーとゴールキーパーを除いて他の全ての選手の位置は、ボールの後方か横で5m離れる。
 - ② 味方ハーフからのフリーキック：キッカーとゴールキーパーを除いて、ボールから5m離れゴールとボールの間に位置してはならない。キックされたボールが空中にある場合はゴールキーパー以外触れることができない。ボールが地面に触れた場合、どの選手もボールに触れることができる。
- 13 ボールインバウンド（フットサルのキックイン、サッカーのスローイン）
キックイン、スローインのどちらでもできる。ただしキックインするために置いたボールをスローインに変えてはいけない。その逆も行ってはいけない。
ボールを保持してから5秒以内に行う。直接得点はできない。
- 14 ゴールクリアンス 守備側チームのゴールキーパーがペナルティーエリア内からボールを手で投げる。5秒以内に投げなくてはならない。
- 15 バックパスルール ゴールキーパーが、味方選手から戻されたボールに続けて2度手で触れることはできない。ゴールキーパーは足ではプレーできる。
- 16 コーナーキック 直接得点できる。5秒以内にキックしなければならない。相手選手はボールから5m離れる。キッカーは自分の足かボールを使って小さな砂の山を作ることができる。
- 17 主審および第2審判 試合は2人によってコントロールされる。審判の判定には異議（言葉や行動で）を示さない。